

(3)補足調査(大学生)

- SDGsについてよく知っている若い世代（大学生）に対して補足調査を実施した。
- 調査は2大学にご協力いただき、WEBアンケート形式で実施した。
- 冒頭、多面的機能支払交付金及び共同活動とは何かについて簡単に説明した上で、多面的機能を支えるために地域で共同活動が行われていることを知っていたかどうか質問した。

大学生向けアンケート概要(1/2)

1. はじめに

日本の農業・農村は、「食」を支えているだけでなく、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の様々な働きを持っています。このような様々な働きを「農業・農村の多面的機能」といい、日本国民の大切な“財産”です。

しかしながら、農村地域の高齢化、人口減少などで、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

このため、農林水産省では、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るために、地域の共同活動に対する支援制度「多面的機能支払交付金」を実施しています。

属性

性別 男性 ☐、女性 ☐

学年 1年 ☐、2年 ☐、3年 ☐、4年 ☐、修士1年 ☐、修士2年 ☐

問1

多面的機能を支えるために地域の共同活動（農地法面の草刈りや水路の泥上げ等）が行われていることを知っていましたか？（1つ選択）

[①知っていた、 ②知らなかった]

2. 多面的機能を支える共同活動（以下、「地域の共同活動」）の内容

多面的機能支払交付金により、以下のような地域の共同活動を支援しています。

地域の共同活動

- ・ 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動
- ・ 水路、農道、ため池の軽微な補修
- ・ 景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動
- ・ 古くなった施設の長寿命化のための活動 等



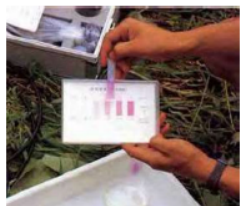
農地法面の草刈り



水路の泥上げ



景観形成



水質モニタリング



水路のひび割れ補修



外来種駆除

(3) 補足調査(大学生)

- 次に、地域の共同活動がSDGsと繋がっている旨説明した上で、地域の共同活動がSDGsの目標達成に貢献すると思うかどうか、共同活動に興味があるかどうか等について聞き取った。
- 最後に、情報発信コンテンツとして何が効果的かを聞き取った。

大学生向けアンケート概要(2/2)

3. 地域の共同活動によるSDGsへの貢献

- (1) 多面的機能支払交付金が支援する地域の共同活動は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に貢献しています。
- (2) 例えば、「目標6：地域における水質を保全する」については、「水質保全、ゴミ等の投棄防止、水の循環利用を増やすなどの取組によって、水質を改善する」活動を行っており、具体的には、水質保全（畑からの土砂流出対策、循環かんがいの実施など）に取り組んでいます（下表参照）。
- (3) このように、多面的機能支払交付金が支援する地域の共同活動という農村地域における小さな活動は、世界が目指すSDGsと繋がっています。

表 SDGsへ貢献する地域の共同活動の内容（一部抜粋）

【目標(6)】地域における水質を保全する。

6 水質汚濁防止法


8.3 水質保全、三つの改善目標、水の循環利用を増やすなどの取組によって、水質を改善する。

- ☐ ① 排水上の改善(排水：取組んでいる(生物浄化保全部))
- ☐ ② 水質汚濁を削減(排水：取組んでいる(生物浄化保全部)、生活排水：取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ③ 排水等の適切な処理(排水：取組んでいる(生物浄化保全部、生活排水：取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ④ 本庁管内の汚泥(汚泥：確保(農林水産部、環境部、農林部))
- ☐ ⑤ 下水道の活用(取組んでいる(チェックを付けた)、活用内容等：具体的な活動内容を記載してください)

活動内容：

【目標(13)】気候変動及びその影響を軽減するための対策を実施する。

13 気候変動


13.1 災害に対する強靱性、応対力を強化する。

- ☐ ① 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ② 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ③ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ④ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑤ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑥ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑦ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑧ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑨ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑩ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑪ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑫ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑬ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑭ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑮ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑯ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑰ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑱ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑲ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑳ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉑ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉒ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉓ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉔ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉕ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉖ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉗ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉘ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉙ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉚ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉛ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉜ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉝ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉞ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉟ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊱ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊲ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊳ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊴ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊵ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊶ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊷ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊸ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊹ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊺ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊻ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊼ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊽ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊾ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊿ 排水設備の更新(取組んでいる(農林水産部))

活動内容：

13.2 災害時における応急体制の整備、水田やため池の雨水貯留機能の活用などによる防災・減災のための普及・啓発を図る。

- ☐ ① 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ② 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ③ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ④ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑤ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑥ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑦ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑧ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑨ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑩ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑪ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑫ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑬ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑭ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑮ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑯ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑰ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑱ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑲ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ⑳ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉑ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉒ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉓ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉔ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉕ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉖ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉗ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉘ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉙ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉚ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉛ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉜ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉝ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉞ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㉟ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊱ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊲ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊳ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊴ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊵ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊶ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊷ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊸ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊹ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊺ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊻ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊼ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊽ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊾ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ㊿ 防災・減災のための普及・啓発(取組んでいる(農林水産部))

活動内容：

【目標(14)】海洋・海洋資源を保全する。

14 海洋資源


14.1 海洋ゴミや漁業廃棄物などによる海洋の汚染を防止。

- ☐ ① 海洋ゴミの回収(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ② 海洋ゴミの回収(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ③ 海洋ゴミの回収(取組んでいる(農林水産部))
- ☐ ④ 海洋ゴミの回収(取組んでいる(農林水産部))

問2 地域の共同活動がSDGsの目標達成に貢献すると思いますか？
(1つ選択)

[①思う、 ②思わない]

問3-1 このような地域の共同活動に興味はありますか？（1つ選択）

「 ①興味がある、 ②興味はない 」

問3-2 問3-1で「①興味がある」と回答された方にお尋ねします。市内において多くの地域の共同活動が展開されています。近隣でこのような活動が行われていますが、機会があれば活動に参加してみたいと思いますか？（1つ選択）

[①参加してみたい、 ②もう少し詳しい情報を知りたい、③参加してみたいと思わない]!

問3-3 問3-2で「①参加してみたい」「②もう少し詳しい情報を知りたい」と回答された方にお尋ねします。
 どのような点に興味を持ちましたか？（1つ選択）

[①地域の方と交流したい、②地域の環境について知りたい、
③SDGsに貢献する活動に取り組みたい、④その他]

また、どのような活動に参加してみたいか、どのような情報を知りたいかなどについて教えてください。（自由記載）

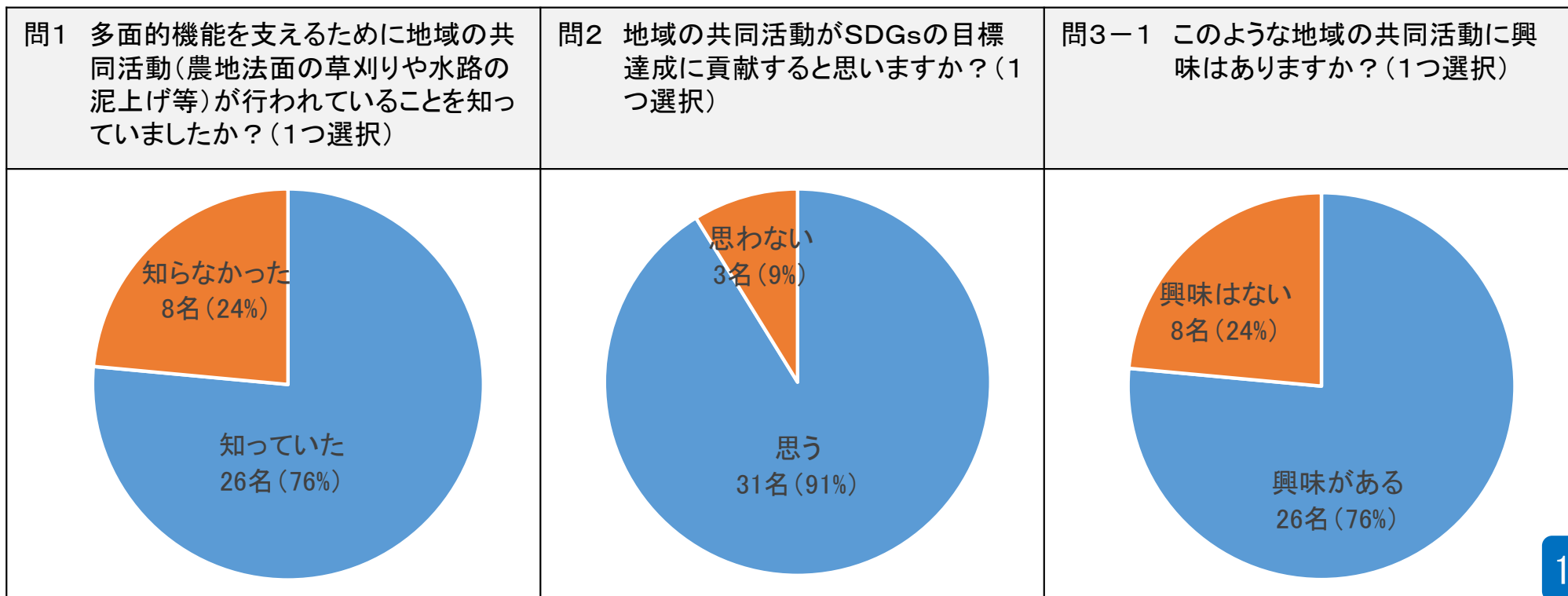
(3)補足調査(大学生)

【調査結果】

- 大学生34名からアンケート結果を回収した（回収率：5割程度）
- その結果、回答者のうち約8割が「地域の共同活動について知っていた」、約9割が「地域の共同活動がSDGsの目標達成に貢献すると思う」、約8割が「地域の共同活動について興味がある」と回答する結果となった。

図 大学生アンケート集計結果の概要(1/2)

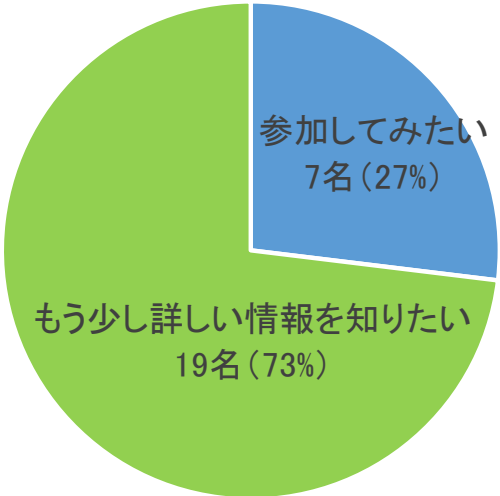
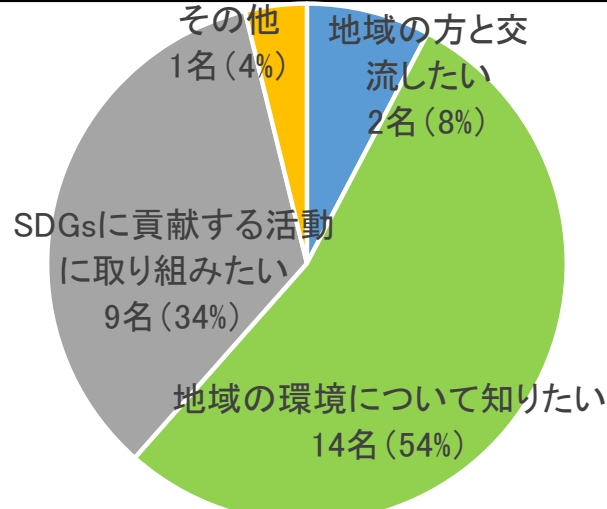
属性等	集計結果			
回答者数【アクセス数】(回収率)	34【66】(52%)			
性別	男性23名、女性11名			
学年	1年	8	4年	5
	2年	1	M1年	7
	3年	8	M2年	5



(2) 大学生を対象とした補足調査

- また、「地域の共同活動について興味がある」と回答した者全てが「参加してみたい」「もう少し詳しい情報がほしい」と回答する結果となった。
- さらに、「参加してみたい」「もう少し詳しい情報がほしい」と回答した者にどういう点に興味を持ったか質問したところ、「地域の環境について知りたい」「SDGsに貢献する活動に取り組みたい」の順に回答が多かった。
- 本調査結果から、地域の共同活動とSDGsへの貢献を結びつけることで、一定数の学生が地域の共同活動に興味を持つことが分かった。

図 大学生アンケート集計結果の概要(2/2)

問3-2 問3-1で「興味がある」と回答された方にお尋ねします。市内において多くの地域の共同活動が展開されています。近隣でこのような活動が行われていますが、機会があれば活動に参加してみたいと思いますか？(1つ選択)	問3-3 問3-2で「①参加してみたい」「②もう少し詳しい情報を知りたい」と回答された方にお尋ねします。どうい う点に興味を持ちましたか？(1つ選択)
 ※参加してみたいと思わない 0名	
どういう活動に参加してみたいか、どういう情報を知りたいかなどについて教えてください。 (自由回答:一部抜粋)	・異常気象(特に激化する水害)への対応について詳しく知りたい。 ・地域の景観を形成する水やごみ問題を解決する活動に参加してみたい。 ・地域の自然環境保護や外来種駆除などの活動への参加やそれに関する情報が知りたい。 ・市でSDGsの目標達成のために具体的にどのようなことを実施しているのか知りたい。 ・地域の問題についてそれぞれ学び、学科の授業の演習としてボランティア活動をしてみたい。 ・自然や子供たちと触れ合う活動に参加してみたい。 ・地域の共同体として農業水利施設の管理状況について研究しているので、実際の現場を一度見てみたい。

4 指標の把握方法

- 多面版SDGsローカル指標を活用して実績報告（様式2-4）から簡易的に取組状況を評価できることを確認できた。
- 一方、実績報告（様式2-4）からは把握することができない10の指標について、把握の方法、また、把握に要する労力を調査し、対応方針を検討する必要がある。
- 今回2市に対して行った試行調査においては、これらの指標は、予め把握しているものではないことから、活動組織への聞き取りが必要であるなどの理由により、把握は困難あるいは時間を要するとの回答であった。
- このため、今後、実績報告では把握できない指標の取り扱いや指標の改善について検討を進める必要があることが明らかとなった。

表 試行調査を踏まえた把握方法

目標	実績報告（様式2-4）から把握できない指標数（全体の指標数）		試行調査を踏まえた把握方法
		指標内容	
目標2	1(2)	本交付金と合わせて環境保全型農業直接支払交付金に取り組む組織数	時間を要するものの、活動範囲の重複の有無を把握すれば把握可能。
目標6	1(4)		
目標5	2(2)	女性役員がいる活動組織数 活動に参加する女性の割合	時間を要するものの、活動組織からの聞き取り等を行えば把握可能。 一方、目標5における「活動に参加する女性の割合」は、活動毎に毎回記録が必要であり、活動組織における労力が大きいため、指標としては削除し、「女性会が参画している組織数」を追加する。
目標7	1(1)	資源循環（小水力発電施設の適正管理）を行っている組織数	
目標8	1(4)	地域住民以外の方の参加する活動を実施している組織数 景観形成等により、地域住民以外の方が来訪する資源を創出している組織数 都市と農村の交流、6次産業化が促進された組織の割合	
目標9	1(3)	大学、企業との連携を行っている組織割合	
目標11	1(6)	伝統的施設や農法の保全・実施に取り組む組織数	
目標13	1(5)	地域住民等との交流活動を実施している（地域における水田を利用した水田貯留機能増・地下水かん養を推進していくために下流域と上流域との間での情報交換会の実施等により、連携を図っている）組織数	
目標14	1(3)	水源かん養林の保全に取り組む組織数	
目標17	1(4)	地方公共団体、推進組織による指導・支援等の実施状況（市町村推進事業実施計画書）	市町村推進事業実施計画書の内容を確認して記載する必要。
合 計	10	（目標2と目標6は重複しているため1つとしてカウント）	

※ 実績報告から全て把握できる目標…目標3、目標4、目標12、目標15、目標16

5 まとめ

1. 多面版SDGsローカル指標の活用方法

- 2市への試行調査結果から、多面版SDGsローカル指標を用いた活動量評価に係る整理内容について、担当者として整理内容に理解は示しつつもSDGsが地域に浸透していない、どの程度貢献しているのか、達成度合が見えるとよい等の回答があった。本交付金の活動がSDGsへの貢献が平均的な行政においては、今回の試行調査と同様の意向を示す可能性が高いと予想される。
- 活動組織への補足調査結果から、アイデアシートについて、地域住民の共同活動がSDGsへ貢献しているということを認識できる等の評価があったものの、地域のSDGs自体への認知度が低い、活動とSDGsを結びつけることが想像しにくい等の評価も得られた。
- 一方、大学生への補足調査結果から、地域の共同活動がSDGsへの貢献することをPRすることは、一定数の学生が地域の共同活動に興味を持つきっかけとなることが分かった。

2. 今後の進め方(案)

- 今回の試行調査等の結果から、多面版SDGsローカル指標を用いた活動量評価等については、一律に普及していくよりも、行政や活動組織の需要に合わせて段階的に活用を展開していくことが適切と考えられる。
- このため、まずはHP掲載やSNSを通じて情報発信を進め、担当者会議等を通じて現場の意見を丁寧に聞きながら、アイデアシートの活用も含め、普及方法を検討していく。
- 若い世代の関心に応える工夫として、例えば、地域の共同活動がSDGsへ貢献していること等について、SNSを活用すること等も検討していく。